

令和6年度 坂井市立東十郷小学校 学校評価

項目	重点目標	回答者	アンケート項目	目標指数 1+2(%)	結果 1+2(%)	成果と課題	改善策・向上策
1 学習指導「 学ぶ子」	読書習慣 の定着	教職員	・読書	90	100	・教科書に掲載されている本を学級文庫に置くことで、児童らが自由に、学習の際に、すぐに読むことができた。 ・図書委員会のおすすめコーナーを設け、児童らが本を手に取りやすい環境を整えることができた。 ・月1回の読み聞かせの再開により、昨年度よりじっくり読書活動に取り組むことができた。	・朝読書の時間は週3回以上確保し、じっくり取り組む時間を作る。 ・月1回程度、学習活動などを通して図書室を利用する時間を設ける。
		児童	・読書	90	87		
		保護者	・読書	90	61		
	授業内容の工夫と改善	教職員	・わかる授業	90	100	・児童用デジタル教科書や教師用デジタル教科書を活用した授業を多く取り入れたため、手軽に学習活動に参加できた。また、デジタル教科書を使うこと自体を楽しんでいた。 ・自分の考えを書いたり、話したりすることができた児童の割合が減った。	・引き続き、タブレットを使った学習活動を取り入れる。 ・自分の考えを伝えるために、もっとキャンバやパドレットなどのアプリを利用する。
			・意見や考え	90	100		
		児童	・授業理解	90	91		
			・話の聞き方	90	96		
			・自分の考え	90	89		
	保護者	・授業理解	90	91			
	家庭学習の習慣	児童	・家庭学習	90	88	・学校から出されている課題は、ほとんどの児童が提出できている。 ・保護者の家庭学習に対するの関心を高める。	・学校だよりや学年だよりなどで、連絡帳や家庭学習に目を通してもらえるよう、またそのメリットなどを発信する。 ・ハッピースマイルに学習に関する項目を追加してもらう。
		保護者	・家庭学習	90	72		

令和6年度 坂井市立東十郷小学校 学校評価

項目	重点目標	回答者	アンケート項目	目標指数 1+2(%)	結果 1+2(%)	成果と課題	改善策・向上策			
2 生活指導 「素直な子」	あいさつ・正しい言葉づかい	教職員	・あいさつ	90	100	・学校の中では、おおむね元よく挨拶をすることができる。 ・自分から進んで挨拶できる児童が多い。 ・地域の方や見守り隊の方への挨拶が不十分であると思われる。 ・言葉遣いの数値が、目標を上回った。	・生活委員会を中心に、児童が主体となって挨拶推進運動に取り組んでいる。前期は、「外国語挨拶週間」や「挨拶名人の選出と表彰」などを実施した。児童の参加意欲は高く、今後も継続して取り組んでいく。			
			・言葉遣い	90	100					
		児童	・あいさつ	90	92					
			・言葉遣い	80	94					
		保護者	・あいさつ	90	83					
			・言葉遣い	80	83					
		きまりを守り安全な生活	教職員	・楽しい学校生活	100			100	・おおむね学校生活を楽しいと感じている児童が多い。 ・清掃活動に一生懸命取り組むことができる。 ・きまりを守ることや正しい身なりを意識して学校生活を送ることができている。 ・インターネットやSNSのルールについて、児童と保護者がしっかりと話し合っ 決めている。また、決めたルールを守っている数値が昨年度から大幅に向上した。	・今年度から、教職員が毎月、情報モラル教育を実施し、低学年のうちからSNSの利用方法や情報モラルについて学ぶ機会を確保する。 ・外部講師を招いた情報モラル教室や講演会などの内容については、引き続き学校便りやホームページ等を通じて、積極的に周知していく。
				・廊下を走る	100			100		
			児童	・楽しい学校生活	90			93		
	・掃除			90	96					
	・きまりを守る			90	96					
	保護者		・廊下を走らない	90	90					
			・楽しい学校生活	90	94					
			・ネットの約束	90	91					
			・スマートルールを守る	80	76					
	いじめ未然防止	教職員	・いじめのない学校	100	100	・友達と仲良く、いじめ不登校、学校の話をする数値が目標を下回った。 ・「いじめアンケート」と「心のアンケート」を学期ごとに実施している。いじめや不登校の未然防止と早期発見を目的に、アンケートの実施時期を調整し、長期休暇明けにも実施している。 ・トラブルが生じた際には、担任に加えて学年主任や生徒指導主事、管理職などがチームを組み、解決に努めている。また、解決後も保護者に連絡を取り、見守りを続けている。				
			・人間関係に配慮	100	100					
		児童	・友達と仲良く	100	94					
		保護者	・いじめ不登校	100	87					
			・学校の話をする	90	86					

令和6年度 坂井市立東十郷小学校 学校評価

項目	重点目標	回答者	アンケート項目	目標指数	結果	成果と課題	改善策・向上策			
				1+2(%)	1+2(%)					
3 健康な生活 「元気な子」	体力づくりの 推進	教職員	・体力向上	100	96	・教職員「体力向上」が4P下がっている。 ・児童「進んで運動」は、目標値と同等であるが、昨年度よりも4P下がっている。昼休みにタブレットを使うようになったことが要因である可能性がある。 ・保護者「体を動かす」の数は昨年と変わりがないが目標値は下回っている。	・無担任の先生も回答しているからかもしれないが、機会を見つけて指導を指導をするという意識を全員がもつべきである。 ・外遊びを推進するためには、お昼休みのタブレット使用を、天気の悪い日や暑すぎる日に限定すべきかもしれない。タブレット使用の推進との兼ね合いが難しい。 ・家でも外遊びを推奨していく。そのためには、スマートルールの厳守も大切であると考えます。			
			児童	・進んで運動	90			90		
			保護者	・体を動かす	90			82		
		健康的な生活習慣	教職員	・早寝早起き	100			96	・教職員「早寝早起き」4P下がっているが、保護者の「早寝早起き」は5P上がっている。しかし、どちらも目標値を大きく下回っている。 ・「朝ごはん」は保護者1P下がるが、児童と保護者の値が一致している。100%まではいかないが高い数値である。	・「早寝早起き」や「朝ごはん」を推進するために、今後も健康観察時のチェック表やハッピースマイルチェックを続けていきたい。 ・早寝早起きに関しては、スマホやゲーム機の使用が大きく影響していることが予想される。スマートルールの徹底を今後も働き掛けていく必要がある。また、警察の方や山原先生のスマホの害についての話を授業参観で行い、保護者にも聞いてもらうなどの活動を毎年行っていくとよい。そして、生活で使うスマホやゲームをする時間をコントロールする力をつけていく必要がある。
				・食生活指導	100			100		
			児童	・早寝早起き	95			87		
	・朝ごはん			100	98					
	保護者		・早寝早起き	95	83					
			・朝ごはん	100	98					

令和6年度 坂井市立東十郷小学校 学校評価

項目	重点目標	回答者	アンケート項目	目標指数 1+2(%)	結果 1+2(%)	成果と課題	改善策・向上策
4 開かれた学校づくり	教育 学活動の 公開の 発信	教職員	・学校公開・行事 ・情報発信	95	100	・学期に1度は学校を公開し、保護者に児童の授業の様子を見ていただいた。2学期には、文化講演会に合わせて授業参観を2時間行った。授業参観の保護者出席率は92%であった。	・HPをスマホでも見れるような形式に切り替えていく。
		教職員	公開日等の工夫	100	100	・資源回収や奉仕作業等のPTA活動には、たくさんの保護者や地域の方々の協力を得ることができた。	
		保護者	・学校公開 ・情報発信	90	91	・校長先生、教頭先生の尽力により、HPを頻繁に更新できた。	
	地域人材 の活用	教職員	・地域人材の活用	100	100	・昨年度の改善策に上がっていた、地域の方々による「読みきかせボランティア」を発足し、運営できた。	・坂井高校との交流は、他校ではできない本校独自の特色でもあるので、今後も続けていきたい。また、今年度、学年として交流できなかった1・3・6年生もできれば交流できるとよい。
		保護者	・地域人材の活用	100	92	・昨年に引き続き、クラブ活動やおしゃべりルーム、人権教室、ひまわり教室、坂井音頭、ゆりの学習会、豆腐作り体験、町たんけん、坂井高校との交流など、各学年で地域人材を活用し、学習を進めることができた。	
	危機管理	教職員	・登下校の安全	100	100	集団登下校時のトラブルが数件あったが、生徒指導、交通安全担当の先生を中心に、地区の担当教諭等と協力しながら迅速に対応・改善することができた。	・定期的に安全指導を行っていく。 ・地域の方々との連携を強化し、協力を得ていく。
		児童	・安全な集団登校	90	94		
		保護者	・登下校の安全	100	94		